



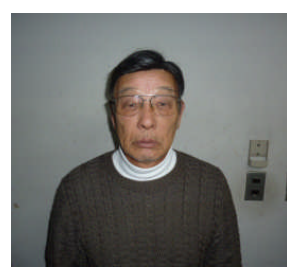
2月21日(日)「気高人権福祉センターで ふれあい交流会」開催されました

宝木区  
 人推協だより

平成二十一年度を振り返って

小船よ沈むな

会長 岡田 寿晃



平成二十一年度五月総会で「人権啓発推進協議会(人推協)」という名称変更が承認されました。昨年度までの同和教育推進協議会との違いは、「人権推進の中心的課題であった同和差別を他の一般差別と同等に扱う」ことにあります(鳥取市方針)。上部団体である鳥取市の協議会が改称したのを機会に当会も改め、取り組みの内容を広げました。

総会数日前、小中学校長より「構成員を外してほしい。市教育委員会の方針でもありません。」と考えもしなかった要請がありました。西ブロック(旧気高郡)・鳥取市人権推進課に持ちかけてみましたが、どこ

とも市教育委員会の方針という応えが返ってきました。このような状況では、学校の要請を受け入れ、今後は学校を除いた状態で推進していかなくてはならないでしょう。

更に西ブロックの会を充実させるようにと指導を受け集会へも参加してきました。

このように外部との関わりを意識して活動した一年でしたが、宝木校区人推協独自の事業は活発に活動したい、しなければいけないという思いで役員一同、「小地域懇談会」、「ふれあい交流会」に精一杯頑張ってきました。

小地域懇談会の事前学習に時間をさき、事業に向けた内容を徹底的に話し合いました。よくぞここまで頑張ってくれたと感謝の気持ちでいっぱいです。

また、役員のごうした動きに対し、住民のみなさんの支援に心から感謝する次第です。荒海に小船で船出し、

何とか乗り切ろうと冒険の旅に出ました。



小地域懇談会を終えて

計画どおり全部落終りました。参加された方の中から、ご意見・ご感想をいただきました。

問題解決への近道

富吉 佃 加津浩

人権問題は二十一世紀の抱える大きなテーマとなっています。アフリカ、ヨーロッパ、



11月4日 富吉部落

パ、中近東、アメリカ、中国、世界各地で民族、宗教人種、政治的問題で争いが起こっています。日本では被差別部落の問題があり、近年では女性問題、障がい者問題も大きく取り扱われています。また人権についての法律も整備されていますが、人権問題の難しさは本人が意識していないところで、他人の人権を無視してしまう

点にあるように思えます。以前ノルディックスキーで日本バッシングとしか思えないようなルールの改正が行われました。スポーツの公平性なのか日本人差別なのか、デリケートな問題を含んでいるように思えます。

人権問題に特効薬はなく、一朝一夕に解決するものではないと思いますが、だからこそ、小地域懇談会を通じて問題を意識していく地道な活動こそが遠回りのようで、実は解決への一番の近道ではないかと思っています。

開催に報いるために

奥沢見 寺嶋みゆき

当地区では、懇談会の出席率は非常に高く、私もこの数年毎年参加しています。以前は同和問題ばかりを取り上げていましたが、



11月22日 奥沢見部落

最近では多種多様な問題を取り上げられ、役員の方のご苦労は計り知れないものがあると思います。

女性問題、障がい者問題について各グループで話し合いました。性別・年齢等の違いにより様々な意見がでました。本場に十人十色とはよく言ったもので、人それぞれの思いがあると感じました。

役員の方は夜遅くまで各地域に出向き、実りある研修であるよう努力されていらっしゃるようです。住民の方はいつでも多く参加され、人権問題について考えてみてはいかがでしょうか。

一人ひとりを思いやるために

酒津 樋片 繁光

去る二月六日酒津漁村センターにて、小地域懇談会が開催されました。今回の懇談会は「一人ひとりが大切にされる明るい町づくり」研修は自分のため」と題し、「何が問題?どうしたらいい?」をい

っしょに考えてみましょう。このことでした。

グループ討論になり、事例を読み、考えるのですが最初はまったく問題点がわかりませんでした。」当事者の身になって「の司会者のアドバイスにハッと気づき、その後は気持ち言葉となり意見がでるようになりました。いかに今まで自分自身が無意識の中で日常生活を過ごしていたか、知らないうちに差別になって

いる問題はないのか、自分自身どうか・・・など、今回の懇談会を通じて反省するところがありました。

今後もこのような懇談会には積極的に参加し、明るい町づくりのため、一人ひとりの人権を尊重し、相手を思いやった発言や行動により対等なパートナーとして、なお一層の信頼関係を築く必要があると思います。



2月6日 酒津部落

研修は自分のために

副会長 橋本 敬一

各地区部落区長・幹事・推進員さんのご協力により小地域懇談会は、十一月四日より二月六日の期間に九部落全て終了しました。

地区により参加人数の少ないところもありましたが、活発な意見がでました。懇談会は小グループに分かれて話し合い形式で行われました。皆さん気軽に発言されるなか、他の人の意見も聞け、有意義な研修であったと考えます。

年一回、約一時間三十分程度の時間の中で、人権という大きなテーマにたいし、一気に結論を出すとか、解決していくことは、なかなか難しいことであると思います。

このような懇談会を継続して学習することにより、自分だけの考え方に固執することなく、多くの人々の立場や意見を身を持って感じ取れるようになることで、「研修は自分のため」と思うことが大切ではないかと感じました。

小地域懇談会実施状況

実施日	部落名	参加者	役員
11月4日(水)	富吉	11	5
11月11日(水)	常松	8	4
11月21日(土)	水尻	3	5
11月21日(土)	上光	3	3
11月22日(日)	奥沢見	11	4
11月28日(土)	夏ヶ谷	15	3
11月28日(土)	下光元	3	3
12月8日(火)	宝木	20	5
2月6日(土)	酒津	20	4

盛り上がった交流会

交流会担当役員

奥田 志磨子

毎年実施されている「ふれあい交流会」。近年参加される方が少なく、役員はいろいろな模索していたところ、「アジア太平洋映画賞」で最優秀主演男優賞を受賞した、本木雅弘さん主演「おくりびと」の新聞記事が目にとまり新しい物として、上映することになりました。

参加者は五十名の予定でしたが、二月とは思えないほどの好天に恵まれ、七十五名というたくさんの方に参加していただき、関係者は嬉しい悲鳴をあげながら、カレー作りなど準備に取り組みました。カレーやご飯の量を調整するのは大変でしたが、「おいしい」とたくさんの方に声をかけていただきました。

上映された「おくりびと」は話題性もあり「一度見たけどもういっぺん見たあて」とか「前から見たかったけえ」という方が多く、終了後の休憩時間には、目頭を押さえながら出て来られる方、涙を拭きながら隣の人と話されている方など、良い映画だったことは一目で分かりました。

職業に対しての偏見を通し、皆さんの心の中に何か深いものが残ったのではないでしょうか。



食後のビンゴゲームも賑やかで、とても盛り上がり充実した交流会となりました。



担当役員による、ビンゴの抽選中です。  
⑩ 出るかな？



！ 良い天気ねえ  
あと一つ出ないなあ



わかめのスプどうぞ  
ありがとうございます



七五人分のカレー作り 朝から大忙しです

人権西日本・夏期講座

研修に参加して

人権啓発推進員 野村 雅江

会長より人権西日本・夏期講座への参加要請を受け、受講しました。

「夏期講座日程」

七月九日(木)〜十日(金)の二日間、山口県山口市のスポーツ文化センターで開催。

第一日 演題 「格差社会がもたらすもの人権の視点から考える」

猿まわし&トーク 「猿まわし復活にかけた思い」の二講演受講。

第二日 パネルディスカッション 「部落問題はいま若者からのメッセージ」講演「差別をなくす社会システムのあり方」

びっしりと組まれたプログラムはどれも有意義で、しっかり学習できた満足しています。以下学習した中からいくつか紹介します。

☆ 自らを被差別部落の出身だと明かした村崎太郎さん。

受け入れられず、もがいている。そして告白によって生れてしまった親との、息子との断絶に苦悩している。

人間の中でもっとも醜く、解決が難しい「感情」の問題。そしてそれが差別の本質である。

☆ 日本には二百万人の「被差別部落」出身者がいると言われている。

教育・雇用などでの差別は改善されつつあるが、精神や感情の面で差別は今も残っている。それが最も端的に現れるのが結婚である。どちらかが被差別部落出身者の場合、三割くらいが結婚差別を受けている。

☆ 部落差別も世代によって差別のかたち、当事者の意識が変わり、実態は一握りにできないほどに多様化している。

☆ 部落差別とは、被差別部落出身に基づく「区別、排除、制限」であり、「政治的、社会的、文化的、その他あらゆる公的生活の分野における平等の立場での人権及び基本的自

由を認識し、享有し行使することを妨げ、害する目的や効果を有するもの」と、人種差別撤廃条約に規定している。

☆ 今日では被差別部落出身を理由に法律上や制度上に「区別、排除、制限」はない。しかし、事実上は存在する。特に結婚時の排除、制限は厳然と存在する。

二日間の研修で学習して得た知識をこれからの啓発活動に活かしたいと思っています。

研修会・講演会 参加状況

実施日	項目	実施場所
4月22日(水)	気高町各地区同和〔人権・同和〕教育推進協議会会長会	気高支所
6月2日(水)	鳥取西ブロック打合せ会	瑞穂地区公民館
6月17日(水)	鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会会長研修会	交流プラザ
6月23日(火)	第1回推進員全体研修会	交流プラザ
7月9日(木)	世界人権宣言推進鳥取市実行委員会総会及び研修会	交流プラザ
7月9日(木)	鳥取市人権教育協議会役員会	交流プラザ
7月9日(木)~10日(金)	第34回部落解放・人権西日本夏期講座	山口県山口市
7月27日(月)	鳥取西ブロック人権啓発推進員研修会	気高支所
8月6日(木)~7日(金)	第36回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会第34回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会推進員研修会 小地域懇談会活性化講座	とりぎん文化会館
9月9・16・30日	鳥取市人権教育協議会社会教育会全体研修会	交流プラザ
10月6日(火)	鳥取西ブロック人権啓発推進協議会全体研修会	瑞穂地区公民館
11月1日(日)	気高町文化祭第6回人権のまちづくり講演会	気高体育館
11月14日(土)	第2回人権啓発推進員全体研修会	交流プラザ
1月20日(水)	鳥取西ブロック人権啓発推進協議会会長会	瑞穂地区公民館

協議会活動状況

実施日	項目	実施場所
4月23日(木)	第1回三役会	酒津地区公民館
5月21日(木)	第2回三役会	酒津地区公民館
5月24日(日)	第1回役員会	酒津地区公民館
5月30日(土)	総会	酒津地区公民館
6月10日(水)	第3回三役会	宝木地区公民館
6月27日(土)	第2回役員会	宝木地区公民館
7月16日(木)	上期たより部会	宝木地区公民館
7月31日(金)	上期たより発行	宝木地区公民館
10月13日(火)	小地域懇談会担当部会	宝木地区公民館
10月28日(水)	小地域懇談会事前研修会	宝木地区公民館
12月18日(金)	交流会担当部会	宝木地区公民館
1月22日(金)	第3回役員会	宝木地区公民館
2月16日(火)	下期たより部会	宝木地区公民館
2月21日(日)	ふれあい交流会	気高人権福祉センター
2月25日(木)	下期たより発行	宝木地区公民館

編集後記

今年度は、新型インフルエンザや政権交代など大変な一年ではなかったでしょうか。同推協も時の流れに乗り遅れることなく人推協へとチェンジし、活動内容も幅の広いものとなりました。しかしその心は時代に流されることなくずっと同じです。

差別やいじめのない社会にするにはどうしたらいいのでしょうか？

さしあたっては、記事にあったように相手を思いやるためにも一人ひとりの良いところを見つめるようにしていこう。